

研修(講座)名	コーディネーター研修		
期日	令和5年5月31日(水)	時間	10:00～15:40
会場	サン・レイク 多目的ホール	参加者数	85名
ねらい	<p>◎講演、実践発表から、地域と学校がより連携・協働して地域学校協働活動を進めていくことの重要性や、そのためのコーディネーターの役割やコーディネートする際の視点について考える。</p> <p>◎参加者同士が交流し、互いの実践の様子や思いについて情報交換することを通して、今後の取組のヒントを得て、実践への意欲を高める。</p>		
研修プログラム	<p>【説明】 『『集結！しまねの子育て協働プロジェクト事業』について』 島根県教育庁社会教育課 社会教育主事</p>		
	<p>【講演】 「しまねのコーディネーターに求めたいこと」 島根大学大学院教育学研究科・講師 大野 公寛 さん</p>		
	<p>「海士町の!! 色とりどりコーディネーター ～学校と地域で共にあまっ子を育むためのCNの役割とそれぞれの思い～」 海士町 共有コーディネーター</p> <p>【実践発表】 根岸 浩章さん 銭谷 郁さん 杉野 修平さん 海士町教育委員会派遣社会教育主事 池田 高理さん</p>		
	<p>【演習】 「実践力を高めよう」 東部社会教育研修センター 社会教育主事</p>		
研修の様子	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center; margin: 5px;">  <p>【講演】</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;">  <p>【実践発表】</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;">  <p>【演習】</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;">  <p>【演習】</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;">  <p>【ふり返り】</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;">  <p>【全体講評】</p> </div> </div>		
参加者の感想	<p>■社会教育に対する在り方(Being)について、もう一段二段深く考えるともいい機会だった。新しい社会教育仲間とつながる機会を頂き、より多くの方とつながることができた。</p> <p>■教員だけでなく、様々な地域と様々な立場の方が混ざるからこそできた話があった。学校を自由に創造的な場にしていき、もっと子どもたちが楽しめる教育をしていきたいと思えた。</p> <p>■研修に参加することで、島根にこれほどたくさんの大人が子どもたちの育ち、教育について考えてくれているのを知ることができてうれしかった。反面、在住の地域や保護者がそれをどれほど知っているんだろう…とも思った。社会教育を学びたいと思った。</p> <p>■種々の所属団体からコーディネーターの方が集まり話せたことで知見が広がった。高校はコミュニティの一部であるからこそ、卒業していく子どもが学びを社会で活かして欲しい。そのためにも、教育の場をコミュニティ全体に広げて、コミュニティで子どもを育てることが重要だと再確認した。コーディネーターは教育の場を広げるサポーターだと分かった。</p> <p>■海士町の発表から地域への愛が伝わってきた。コーディネーターとして、自分の仕事への意識が変わった。発想の豊かさもスゴイ!!学校の中で、そして、外に出て、いろいろと話しを聞き、一緒にできる取組を見つけ、つながりをつくっていかれたらと思った。</p>		